

ほととぎす鳴きつる方を
ながむればたゞ有明の
月ぞ残れる

ほととぎすが鳴いた方を眺めると、その姿は見えずに
ただ有明の月が残っている。

（百人一首 八一番 後徳大寺左大臣）

中一三五